

平成20年11月7日

各位

上場会社名 南海プライウッド株式会社
 代表者 代表取締役社長 丸山 徹
 (コード番号 7887)
 問合せ先責任者 執行役員 管理部門長 松浦 義博
 (TEL 087-825-3615)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,630	460	630	410	41.38
今回発表予想(B)	13,330	170	250	130	13.13
増減額(B-A)	△300	△290	△380	△280	——
増減率(%)	△2.2	△63.0	△60.3	△68.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,383	386	78	△21	△2.14

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	290	480	290	29.27
今回発表予想(B)	11,200	0	184	87	8.79
増減額(B-A)	△300	△290	△296	△203	——
増減率(%)	△2.6	△100.0	△61.7	△70.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,300	186	△70	△228	△23.11

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の住宅業界は、新設住宅着工戸数が昨年の改正建築基準法影響による大幅減少の反動による増加はあるものの、回復力に力強さはなく、また企業収益の悪化による所得環境への不安や株価の急落などから、住宅購入意欲の低下が見られるなど厳しい環境でありました。当社グループの第2四半期連結累計期間の業績につきましては、このような住宅動向のなか収納材提案営業強化による拡販に努めてまいりましたが、売上高の減少のほか、デリバティブ時価評価差額損、外貨建債権の時価評価にかかる為替換算差額損等の営業外費用、固定資産除却損等の特別損失が発生いたしました。

通期の業績予想につきましても、第2四半期累計期間同様厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引続き収納材の拡販に努め、原材料価格の上昇等を含めた生産性の向上、無駄をなくした経費節減等のコストダウンをはかり、収益の向上を見込んでおります。しかしながら、市場環境の停滞が続き、住宅市場の回復が予想より遅れているため、売上高は減少することが見込まれ、外貨建資産の為替差損等の影響により前回予想を下回る見通しとなりました。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上